

PARTIAL TRANSLATION OF JAPANESE UNEXAMINED UTILITY MODEL

PUBLICATION (KOKAI) NO. 7-36280

Title of the Device: POS Apparatus

Utility Model Application No.: 5-71124

Application Date: December 3, 1993

Applicant: NITSUKO Corporation

3. Detailed Description of the Device

(Corresponding to page 4, line 25 through page 5, line 11)

[Means for Solving the Problems]

To solve the problems caused by a POS apparatus in the prior art, the present device is provided with a POS apparatus in which various information is input from a handy terminal 1 in a restaurant, etc., and in which an information management about accounts, totalization of sales, dishes, and the like is carried out, as shown in Fig. 1.

More specifically, the POS apparatus shown in Fig. 1 comprises a reception input unit 6 for carrying out a reception of various guests, a vacant seat indicating unit 4 for indicating the state of vacant seats and corresponding names, and a voice output unit 5. In such a configuration as in the POS apparatus, the reception of various guests is carried out in the reception input unit 6, and the state of vacant seats and corresponding names are indicated in the vacant seat indicating unit 4, and these guests can be guided to respectively corresponding seats by using the voice output unit 5.

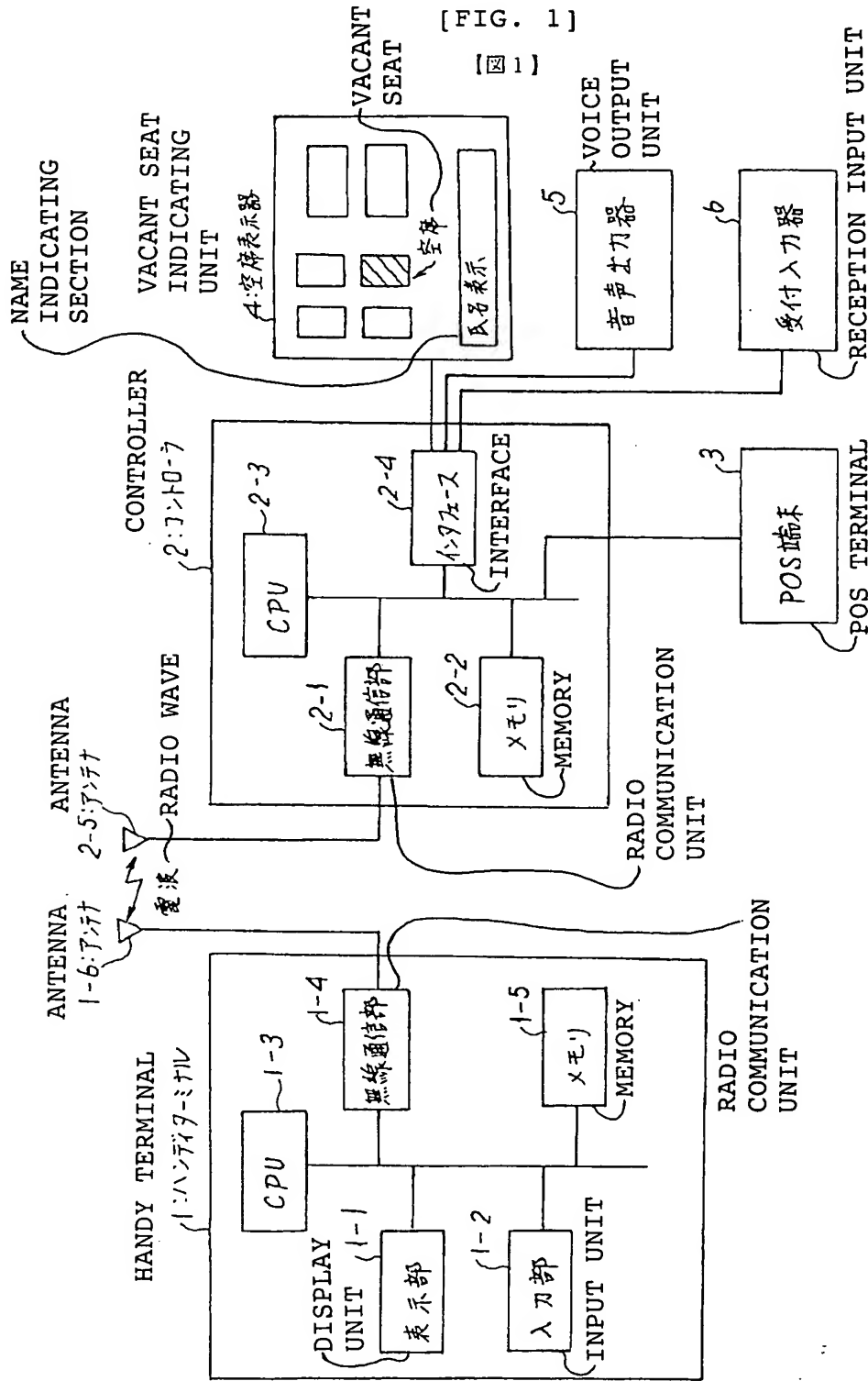
[Mode of Operation]

In the present device having the above-mentioned

configuration, in the case in which all the seats are occupied, some of the guests input information about the names, the number of their groups and a desire for non-smoking seats, and make a request for the reception for themselves, by using the reception input unit 6.

On the other hand, employees in a restaurant, etc., accept orders from the guests while walking around guest rooms, etc., and carry ordered dishes to the guest rooms. When the employees have found some vacant seats in the guest rooms, they input the number of each of the vacant seats from the handy terminal 1. Subsequently, the POS apparatus controls the vacant seat indicating unit 4 to indicate the above vacant seats and corresponding names and allows the guests to be automatically guided to corresponding vacant seats by using the voice output unit 5.

Therefore, according to the present device, it is possible to rapidly deal with a number of guests in a restaurant, etc., without a guide person. Consequently, it is possible to remarkably reduce the time that it takes each of the guests to go out of the restaurant, etc., after having entered the restaurant, etc.



本考案の客席案内機能付きPOS装置の構成
CONFIGURATION OF POS APPARATUS HAVING THE FUNCTION
OF GUIDING GUESTS TO RESPECTIVELY CORRESPONDING
SEATS ACCORDING TO THE PRESENT DEVICE

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-36280

(43) 公開日 平成7年(1995)7月4日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 7 G 1/12

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 6 1 C

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 15/ 21

3 1 0 Z

3 3 0

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号

実願平5-71124

(22) 出願日

平成5年(1993)12月3日

(71) 出願人 000227205

日通工株式会社

神奈川県川崎市高津区北見方2丁目6番1号

(72) 考案者 浅野 利也

神奈川県川崎市高津区北見方260番地 日通工株式会社内

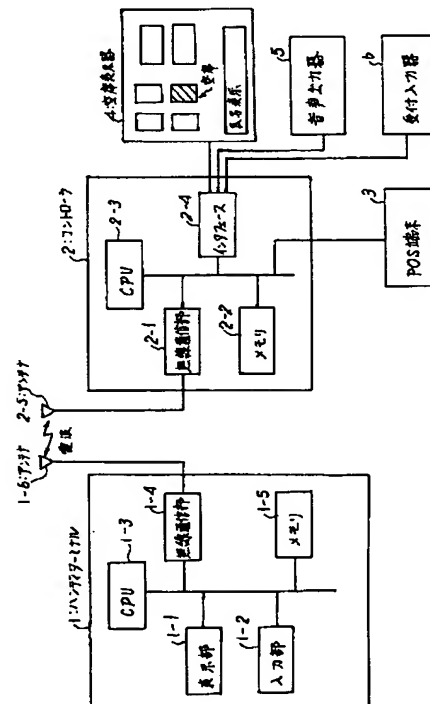
(74) 代理人 弁理士 熊谷 隆 (外1名)

(54) 【考案の名称】 P O S 装置

(57) 【要約】

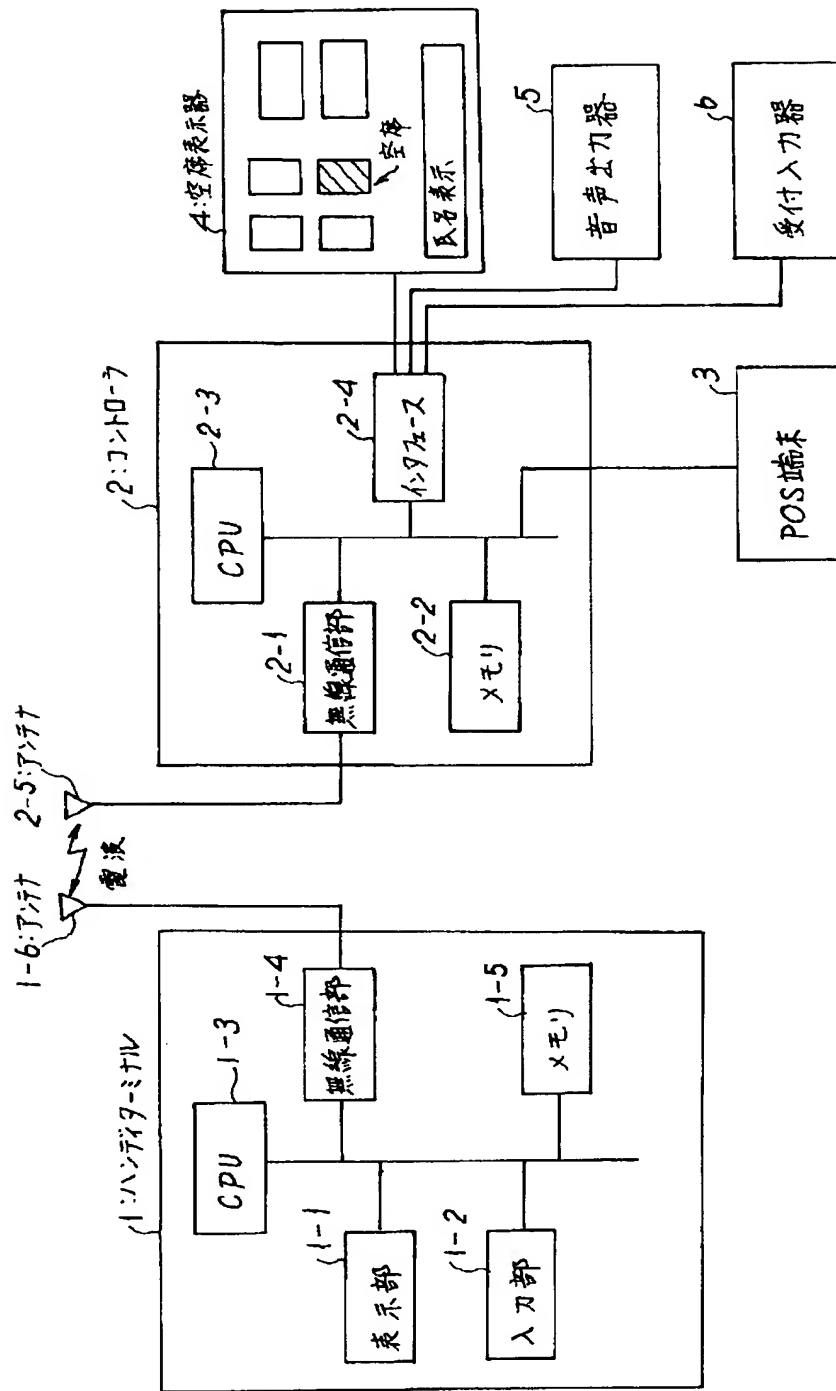
【目的】 客席に空席が出来た場合、自動的に客を席に案内をする機能を具備するPOS装置を提供すること。

【構成】 レストラン等でハンディターミナル1から情報を入力し、会計、売上集計及び料理等の情報管理をするPOS装置において、POS装置に來客の受付を行う受付入力器6と、客席の空席状況及び氏名を表示する空席表示器4及び、音声出力器5を設け、受付入力器6で來客の受付を行い、空席表示器4に空席状況及び該当者氏名を表示し、音声出力器5で該当する客の案内を行う機能を設けた。



1	2
【実用新案登録請求の範囲】	1-1 表示部
【請求項1】 携帯用端末から情報を入力することができ、会計及び売上集計等の情報管理をするPOS装置において、	1-2 入力部
前記POS装置に來客の受付を行う受付用入力器と、客席の空席状況及び氏名を表示する表示器及び／又は音声出力器を設け、	1-3 CPU（中央演算処理装置）
前記受付用入力器で來客の受付を行い、前記表示器に空席状況及び該当者氏名を表示し、前記音声出力器で該当する來客に客席の案内をする機能を設けたことを特徴とするPOS装置。	1-4 無線通信部
【図面の簡単な説明】	1-5 メモリ
【図1】本考案の客席案内機能付きPOS装置の構成を示すブロック図である。	1-6 アンテナ
【符号の説明】	2 コントローラ
1 ハンディターミナル	2-1 無線通信部
	2-2 メモリ
	10 2-3 CPU（中央演算処理装置）
	2-4 インタフェース
	2-5 アンテナ
	3 POS端末
	4 空席表示器
	5 音声出力器
	6 受付入力器

【図1】



本考案の客席案内機能付きPOS装置の構成

【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、レストラン等で使用されるPOS装置に関するもので、特に来客の受付及び案内を行う機能を設けたPOS装置に関するものである。

【0002】**【従来技術】**

従来、レストラン（ファミリーレストラン等）で使用されるPOS装置では会計、売上集計、注文料理品の情報管理等が行われている。しかし、客席の空席の管理や来客の案内等の機能はなく、客席が満席の場合は、客は店員に氏名と人数を申込み待合室で待ち、店員はその人数分の客席が空くと客を案内するシステムになっている。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

しかしながら、最近のレストランでは受付専用の店員を置いている店は少なく、店員は受付、案内、料理運搬等の多くの業務を兼ねているのが普通である。このようなレストランにおいては、店員の手が空くまで客の受付や空席ができてても客席への案内を行うことが出来ず、客を待たせることになる。従って、客の回転を悪くすると云う問題があった。

【0004】

本考案は上述の点に鑑みてなされたもので、上記問題点を除去し、店員が居なくとも客が自分で受付申込みができ、客席に空席が出来た場合、自動的に受付済みの客を席に案内をする機能を設けたPOS装置を提供することを目的とする。

【0005】**【課題を解決するための手段】**

上記課題を解決するため本考案は、レストラン等でハンディターミナル1から情報を入力し、会計、売上集計及び料理等の情報管理をするPOS装置において、図1に示すようにPOS装置に来客の受付を行う受付入力器6と、客席の空席状況及び氏名を表示する空席表示器4及び、音声出力器5を設け、受付入力器6

で来客の受付を行い、空席表示器 4 に空席状況及び該当者氏名を表示し、音声出力器 5 で該当する客の案内を行う機能を設けたことを特徴とする。

【0006】

【作用】

上記構成を採用することにより、本考案では客席が満席の場合、客は自分で受付用入力器 6 で氏名及び人数及び禁煙席を要望か否かを入力して、受付申込を行う。一方、店員は客室等を歩きながら注文を聞き、料理を運びながら空席が生じたとき、ハンディターミナル 1 から空席の番号を入力することにより、POS 装置は空席表示器 4 に空席及び氏名を表示し、音声出力器 5 で該当する客を自動的に案内する。従って、案内係が居なくとも客への対応が速やかに行われ、客の回転率を高めることが可能となる。

【0007】

【実施例】

以下本考案の一実施例を図面に基づいて詳細に説明する。図 1 は本考案の客席案内機能付き POS 装置の構成を示すブロック図である。図示するように、本考案の客席案内機能付き POS 装置は情報を入力するハンディターミナル 1、オーダーエントリ用のコントローラ 2、入出力に使用されている POS 端末 3、客室の席の配置図及び客の氏名を表示する空席表示器 4、呼出し案内等をする音声出力器 5、及びタッチパネル等で来客を受付けるための受付入力器 6 で構成される。

【0008】

ハンディターミナル 1 は表示部 1-1、情報を入力する入力部 1-2、CPU（中央演算処理装置）1-3、無線通信部 1-4、データやプログラムが格納されているメモリ 1-5 及び、アンテナ 1-6 から構成される。入力部 1-2 から注文品及び空席や空テーブルの番号が入力され、無線通信部 1-4、アンテナ 1-6 を介してコントローラ 2 へ送られる。

【0009】

コントローラ 2 は無線通信部 2-1、メモリ 2-2、CPU（中央演算処理装置）2-3、入出力機器のインタフェース 2-4、アンテナ 2-5 で構成される。前記ハンディターミナル 1 からアンテナ 2-5 及び無線通信部 2-1 を通して

送られてきた情報はCPU 2-3で処理され、POS端末（従来機能の端末）3、空席表示器4及び、音声出力器5へ出力する。空席表示器4は客室の席の配置図及び客の氏名を表示し、空席の場所を点滅することにより表示することが出来る。

【0010】

上記構成のPOS装置において、空席の表示及び案内の動作を説明する。客が来店すると、満席の場合、まず客は受付入力器6から氏名、人数、禁煙席の指定等を入力し待合室で待つ。CPU 2-3は入力されたデータをメモリ2-2へ記録する。待合室には空席表示器4、音声出力器5、及びタッチパネル等の受付入力器6が設置されている。

【0011】

一方、店員は客席の片付けが終了すると、ハンディターミナル1の入力部1-2から空席番号や空テーブル番号を入力する。ハンディターミナル1のCPU 1-3は入力データを処理し、無線制御部1-4、アンテナ1-6を介して無線でオーダエントリ用のコントローラ2にデータを送信する。

【0012】

コントローラ2は、アンテナ2-5及び無線通信部2-1を通してデータを受信する。CPU 2-3は受信データを処理し、送信されてきた空席番号や空テーブル番号から空席の数、禁煙席か喫煙席の区別を行い、メモリ2-2に記録されているデータと照合して最適な客を割り出し、インタフェース2-4を介して空席表示器4に客の氏名を表示し、空席や空テーブルを点滅して表示し、音声出力器5で音声で知らせることにより、該当する客に客席の案内を行う。該当する客は空席表示器4を確認した後、表示消去操作をして指定された客席に着く。

【0013】

尚、従来の機能である会計、売上集計、注文等の情報処理は上記案内処理と平行して行われるのは勿論である。

【0014】

【考案の効果】

以上、詳細に説明したように本考案によれば、下記のような効果が期待される

。

来客の受付及び、客席への案内を自動化するため、店員の手が空いていなくても客の受付及び客席への案内をすることができるので店員の省力化になり、更に、特に忙しい時間帯（ランチタイム及びディナータイム等）で、客を待たせる時間も短くなり客の回転率が上がる。